

美しい多摩川フォーラム・第2回運営委員会議事録

日 時 : 平成26年1月24日(金)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)2階キャンティ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 森田 昇 青梅信用金庫 理事長
委 員 小平 房代 東京都産業労働局 観光まちづくり担当課長
青木 正 東京都西多摩建設事務所 管理課長
石橋 克己 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 係長
福泉 謙司 青梅市 建設部 計画調整担当 主幹
若菜 伸一 奥多摩町 企画財政課 課長
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会 会長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事・事務局長
武田 和久 日本たばこ産業(株)立川支店 業務部長
糸井 俊秋 東日本旅客鉄道(株)八王子支社 営業部 販売促進課
観光開発グループ
小林 誠 東京急行電鉄(株) 都市開発事業本部 ビル事業部
二子玉川ライズ推進部 企画担当 専任主幹
吉丸 博志 森林総合研究所 多摩森林科学園 園長
岡部 達朗 (株)JTB コーポレートセールス 法人営業西東京支店 営業第二課長
栗原 洋三 大田観光協会 事務局長
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド
オブザーバー 橋本 和弘 日の出町 産業観光課 課長
玉川 健一 檜原村 産業環境課 産業観光係 主事補
(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)

(第2号議案)平成26年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(資料 1)第2回多摩川“水”大学講座開催

(資料 2)第5回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催

(資料 3)第6回大田区より寄付金の贈呈

(資料 4)公益財団法人とうきゅう環境財団・2014年度多摩川およびその流域の
環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)助成金交付要望
申請書提出

(資料 5)「エコプロダクツ2013」においてフォーラムを紹介

(資料 6)第6回多摩川子ども環境シンポジウムの開催

(資料 7)公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する
中間報告書」及び「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する
調査・試験研究(「多摩川一斉水質調査」関係)助成金交付申請書提出」

(資料 8)第2回桜守学校開催

1. 開会（運営委員会成立の確認、資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成25年度・第2回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて44名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。それから本日はじめて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

（大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 係長 石橋 克己 様）

石橋と申します。本来でしたら、私どもの管理職が区長の代理で出席するところですが、所用により、私が出席させていただきました。4月には、大田区の多摩川沿いを歩く、多摩川フォーラムのイベントが開催される予定で、大変嬉しく思っております。今後ともよろしく願いいたします。

（日本たばこ産業(株)立川支店 業務部長 武田 和久 様）

武田と申します。支店長田村の代理で出席させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

（事務局）

有り難うございました。続きまして、本日オブザーバーとして初めてご出席いただいている方をご紹介します。

（日の出町 産業観光課 課長 橋本 和弘 様）

橋本と申します。日の出町には、多摩川支流の平井川が町の中心を流れており、平井川をきれいにしようと、下水道普及率が約100%となっています。今後は、多摩川を美しく保つためにぜひ協力していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

（檜原村 産業環境課 産業観光係 主事補 玉川 健一 様）

玉川と申します。よろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

（細野会長）

皆さん、「新年明けましておめでとうございます。」と言ってから、間もなく1ヵ月になろうとしています。時が経つのは早いものです。私たちの美しい多摩川フォーラムも、時間と共に進化しつつあります。後ほどお話があると思いますが、平成25年度・第2回運営委員会はとても重要な会議であり、平成26年度の事業計画や予算について話し合います。それでは、

11月の第1回運営委員会以降の経過報告を事務局にお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

本日は、ご多忙の中、平成26年度・第2回運営委員会にご出席を賜り、誠に有り難うございます。前回11月の運営委員会以降に実施された活動につきまして、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から特に(2)番、(3)番の2つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

引き続き、経過報告を続けます。

(1) 第2回多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/15 最終回)【資料1】

【資料1】をご覧ください。今年度は、国分寺市との共催で開催し、全カリキュラムが終了しました。講師は、当フォーラムの小倉副会長にお願いし、講座を通じて「水環境のリーダー」の養成を目指しました。なお、第3回目となる来年度は、立川市での開催を目指して調整中です。小倉副会長、一言お願いします。

(小倉副会長)

資料にあります通り、5月17日から11月15日まで、全6回の講座を修了しました。内容は、裏に書いてあります。全6回のうち、4回以上出席された方には修了証を授与しました。修了された方々が、それぞれ地域に戻って、水環境に関するリーダーになり、活動されることを期待しております。

(2) 第5回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月中)【資料2】

【資料2】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体からスタートし、第5回目となる今年度は21団体が連携団体として名を連ねました。今回、行政では、あきる野市様、小金井市様、民間企業では、日野自動車様、カシオ計算機様、大和ハウス工業様が新たに参加されました。

それでは、当日参加された青梅市の福泉様に一言お願いいたします。

(青梅市 建設部 計画調整担当 主幹 福泉 謙司 様)

本日は、市長の竹内が所用で出席できず、大変申し訳ございません。代理で参加させていただきます。今回、美しいクリーンキャンペーンに初めて参加しましたが、大勢の方、特に若い人たちが沢山参加され、とても楽しそうにしているのが印象的でした。ゴミ

は無いに越したことはありませんが、ひとつ拾うだけでも、多摩川がきれいになっていく実感がわくような気がしました。この活動がずっと続いていくことを期待しております。青梅市においても、毎年8月に多摩川(御岳～友田)の清掃を実施しており、私はそちらにも参加しておりますが、多摩川フォーラムのように情報を発信していく、やることに意義があるんだという感想を持ちました。

- (4) 公益財団法人とうきゅう環境財団・2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)助成金交付要望申請書提出(12/12)

【資料4】

【資料4】をご覧ください。2014年度の案件として『「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と“語り”の実演』という題目で申請しました。これは、平成23年度～平成24年度の2年に亘り、農林水産省関東農政局の交付金事業として、グリーン・ツーリズムの一環で「多摩の物語」の完成発表会を開催しましたが、多摩川上流域だけでなく、多摩川中・下流域の各地域に古くから伝わる民話や昔話の掘り起しを行い、“語り”実演による発表会を開催しようというものです。同時に、安心・安全な暮らしに欠かせない防災の必要性について、“語り”を通じて訴えていきます。「多摩の物語」は小冊子にまとめ、公民館や図書館ほか教育関連施設等に配布し、地域の人々に普及させていこうというものです。なお、助成金決定は3月に通知される予定です。

- (5) 「エコプロダクツ2013」においてフォーラムを紹介(12/12～14)【資料5】

【資料5】をご覧ください。フォーラム会員のカシオ計算機(株)様では、昨年12月12日～14日に東京ビッグサイトで開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2013」に出展され、3年連続で美しい多摩川フォーラムの活動について、ご紹介をいただきました。

- (6) 第6回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/14)【資料6】

【資料6】をご覧ください。第6回目となる「多摩川子ども環境シンポジウム」が、昨年12月14日(土)に、昭島市のフォレスト・イン昭和館において、総勢233名の発表関係者・一般来場者が参加し、開催されました。「多摩川のここが好き！」というテーマで、多摩川流域の小中学生による発表が行われました。これまでの大会で、最も多くの子どもの発表・参加があり、大変充実した内容となりました。なお、発表内容については、「みんなの発表誌」にまとめ、本年3月上旬に発表者や教育関係者ほか関係団体の皆さんに配布する予定です。

- (7) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する中間報告書」及び「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩川

「一斉水質調査」関係)助成金交付申請書提出」(1/8)【資料7】

【資料7】をご覧ください。本件につきましては、渡邊環境清流部会長にご説明をお願いします。

(渡邊環境清流部会長)

この資料は、とうきゅう環境財団に、一般研究として提出された2013年度の中間報告書および2014年度の申請書です。中間報告につきまして、簡単に説明させていただきます。

テーマは、『市民や子ども達による多摩川流域一斉水質調査についての新たな展開－電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定－』です。一斉水質調査は、2008年から始めており、多摩川上流～下流において、水温・気温・CODを測定してきました。2013年度から助成が認められたため、さらに電気伝導率(水の中に含まれる無機イオン総量の指標)、硝酸態窒素、リン酸態リンも測定することにしました。まず、調査地点75ヵ所全てについて、事務局の荻野さんと一緒に現地視察をしました。川には住所がないため、調査地点の緯度経度をきちっと計りました。そうしないと、同じ地点の水を採取することができず、経年変化を正しく調査することができません。この緯度経度を調べ際に問題となったのは、私はGPSを付けたカメラで調査地点の緯度経度を調べたのですが、国土地理院やGoogleの緯度経度と11秒ほどずれているのです。おかしいと思って詳しく調べたところ、ゼンリン地図は日本測地系で、国土地理院やGoogleは世界測地系であることがわかりました。スマートフォンも世界測地系だそうです。

電気伝導率については、正確に測定するためにも、約20万円の電気伝導率計を買っていただきました。窒素やリンについても、正確な数値を把握するため、デジタルパックテストを用いました。

電気伝導率での調査結果ですが、1番～3番は非常に水がきれいでイオンが少なく、46番までは水質が安定しています。47番になると、急に値が大きくなっていますが、多摩川上流水再生センターと、対岸には八王子水再生センターがあり、下水処理水が混ざるため、値が急激に高くなっています。また、71番からは海水が混じってきますので、さらに値が高くなっています。

8ページの表2をご覧ください。これは、多摩川上流水再生センターと八王子水再生センターから放流される放流水の水質ですが、これによると、CODは9mg/Lの下水処理水が放流されていますので、我々が測定した結果とほぼ同じということが分かります。上流から来たきれいな水のほとんどが羽村の堰や小作堰で採られ、下水処理水が放流されるので、そういった値になります。

硝酸態窒素での調査結果を見ても、やはり47番から急激に値が高くなっていますので、多摩川における下水処理水の割合が多いことが分かります。しかし、71番になると値が急激に低くなっており、原因を追及するため、アンモニア量を測定したところ、値が

5mg/Lほどありました。これは、硝酸態窒素が、酸素量が少ないために還元され、アンモニアまたは亜硝酸に変わったということが分かりました。平成26年度については、アンモニアや亜硝酸も測定したいと検討しています。

リン酸態リンについては、非常に値が低かったのですが、47番以降は値が上がっています。CODのほかには電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンを測定することによって、多摩川から東京湾に窒素やリンがどのくらい入ってくるのか理解できますし、赤潮や青潮の原因究明に繋がります。こういった測定を子どもたちや一般市民と一緒にやる事で、多摩川の水質をより理解できると思います。また、「身近な水の調べかた」をまとめた冊子を作成する予定です。

(8) 第6回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(1/21)【入選作品を展示】

今週21日(火)に、フォーラムの事務局がある青梅信用金庫本店内におきまして、第6回目となる美しい多摩川フォトコンテストの作品審査会が開催されました。今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が187点、「多摩川夢の桜街道部門」が93点で、合計280点の応募があり、昨年に比べ13点ほど応募点数が増えました。審査結果でございますが、「多摩川の風景・人々部門」、「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が3点選ばれました。

また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多摩川夢の桜街道部門」より5点が選ばれました。この審査結果は、2月3日に美しい多摩川フォーラムのホームページで公開する予定ですが、本日は役員の皆さんに一足早く上位の作品をご覧いただきたいと思い、入賞作品をサイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどご覧ください。

(9) 第2回桜守学校開催(3/26)【資料8】

【資料8】をご覧ください。昨年度に続き、今年度も第2回桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の公益財団法人 東京都公園協会様、小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラム・ホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始する予定です。

以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

渡邊部会長の話を聞いたら、久しぶりに大学の講義を受けているみたいで、懐かしく思いました。事務局からの報告で何かご質問、ご意見はございますか。ないようでしたら、本日の協議事項に入りたいと思います。

4. 協議

(1) 第1号議案: 東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。

東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)

平成25年2月22日、2012年度「日本金融通信社・ニッキン賞」が発表され、美しい多摩川フォーラムの事務局を務める青梅信用金庫が唯一、ニッキン賞を受賞しました。2月27日には、表彰式が行われ、賞牌と副賞50万円が贈呈されました。

「ニッキン賞」とは、2012年度で36回目を迎える名誉ある賞で、金融業界新聞最大手の株式会社日本金融通信社が、金融機関を対象に、金融界や社会の発展に広く貢献した行為を顕彰するもので、美しい多摩川フォーラムの活動、特に東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道運動」が最高の評価を受け、受賞に至りました。その後、3月14日に開催された当フォーラム運営委員会において、青梅信用金庫より当フォーラムに副賞の50万円が寄贈されました。

当フォーラムでは、今年度も東北・夢の桜街道推進協議会を通じて、東北復興支援事業を実施しており、副賞50万円につきまして、同協議会に拠出したいこと。

以上、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。ここで、東北・夢の桜街道運動について、宮坂事務局長より補足説明をお願いします。

(宮坂事務局長)

ご審議・ご決裁有り難うございました。有効に活用させていただきます。ご参考までに、東北・夢の桜街道推進協議会事務局の立場で、平成26年春の事業について若干ご説明したいと存じます。お手元の資料の最後に、4枚ワンセットの資料をお付けしているので、ご覧ください。

まず1枚目のチラシですが、会場入口に掲示してあります、平成26年春シーズン用のポスターの縮小版であります。今回特徴的なことは、協議会メンバーが昨年の春に比べ11先も増え、全体で33先となり、運動の裾野が大きく広がったことです。また、後援先の中で、信用金庫の数が、一昨年は116金庫、昨年は211金庫、今年は全国の全268

金庫となりました。北は北海道の稚内信金から、南は沖縄県のコザ信金まで、各金庫の全営業店、約7,500店舗において1月中旬から4月末まで掲示され、PRしていただくことになっております。

次のA3版の資料ですが、東北・夢の桜街道運動の進め方をまとめてあります。真ん中の図をご覧ください。昨年7月に協議会の総会が山形市で開催され、それまで、経済支援を中心に運動を進めてきた訳ですが、今後は東北の地元も連携・協働して運動を盛り上げていこうということで、新たに環境軸と教育文化軸が加わり、美しい多摩川フォーラムと同じ3本柱の運動に衣替えしました。まず環境軸では、生態系にも配慮した桜の植樹・維持再生活動を行います。昨年の11月に岩手県釜石市の津波被災地で、公益財団法人・日本花の会、地元の方々、ボランティアなどの参加を得て、第1回目の植樹20本を実施しました。次に、教育文化軸では、昨年春、東北の信用金庫27金庫中10金庫で始めた「子ども対象の“桜”の絵画コンクール」を、今後、東北の全27金庫で開催したいと伺っております。子どもたちに地元の魅力ある“桜”に気付いてもらい、郷土愛を育みたいと考えております。また、観光客の皆さまには、単に桜の札所を巡るだけでなく、桜の札所に来たら、是非、近くにある名物の団子を食べてくださいとか、隠れた地酒を召し上がってください、といった形で、地元の魅力ある“食”に触れていただきたいという考え方から、“食”の逸品制度を導入します。

なお、運動を支えるICT戦略の一端を担っていただくために、富士通さんを中心に、「東北・桜旅ナビシステム」を無償で開発していただいております。これには、“食”の逸品情報や桜の開花情報も盛り込んでいく予定です。もちろん、ホームページからアクセスできるようになっています。

A3版資料の右側の「当面の実施スケジュール」をご覧ください。その中で、3月に「桜の札所のパネル展」開催となっておりますが、これは、東急電鉄さんが二子玉川駅前の大型展示施設ライズにて、東北復興支援として、「東北・夢の桜街道」と「多摩川夢の桜街道」のパネル展を同時に開催していただけるということで、現在、3月9日(日)の日程で、東急電鉄さんと調整しております。

最後に、経済軸についても、新たな動きがありますので、ご紹介したいと思います。これまで東北復興支援につきましては、「旅で支える東北」ということで、“桜の札所巡り”の旅行商品造成やスタンプラリー事業、桜の語り会などにより、ご支援して参りましたが、国内の旅行需要だけでは限界があると見込まれるため、この春からは、台湾をはじめとする東アジア・インバウンド戦略ということで、外国人の訪日、とりわけ、東北復興支援という形で、外国の方に桜の札所にお越しいただこうと考え、昨年来、関係筋に根回しを実施しております。そうしたところ、つい先日の1月14日に、観光庁から、「台湾の訪日旅行促進のための春シーズンのプロモーション事業」が企画競争入札として公示されました。中身を見ると、入札応募条件として、『東北・夢の桜街道については重点的に取り上げること』という一文が付記されており、当事務局でもびっくりするような展開になって

います。別の言い方をすれば、政府自らが「東北・夢の桜街道」を台湾でPRするという公共事業です。既に、「東北・夢の桜街道運動」につきましては、10年間継続すると対外的に宣言しておりますが、2020年のオリンピック開催に向け、丁度、歩調が合いますので、当協議会としては、日本の成長戦略の一つとして、東北、ひいては日本復活の有力モデルに発展させていきたいと考えております。お手元の4枚目の資料にも、その一端を書き込んでおりますので、後ほどご覧いただければと存じます。私からのご説明は以上です。ご質問等がございましたら、お答えいたします。

(細野会長)

何か質問等はございますか。大きな話になってきていますね。無いようでしたら、次に進めます。事務局は大変ですが、引き続きよろしく申し上げます。

(2) 第2号議案:平成26年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(事務局)

【第2号議案】をご覧ください。平成26年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)ですが、収入の部は、会費として 2,400,000 円を見込んでいます。寄付金として青梅信用金庫様より8,000,000 円、委託金として青梅市様より290,000 円(予想)、助成金として、とうきゅう環境財団様より 536,500 円、前期繰越金を合わせ、合計で 13,772,135 円となります。一方、支出の部は、総会 370,000 円ほか、運営費を合計しますと 4,070,000 円、多摩川夢の桜街道～札所巡り700,000 円ほか活動費を合計しますと8,416,500 円、それに次期繰越金 1,285,635 円を合わせ、合計で 13,772,135 円になります。運営費の項目に、「フォーラム専用ポロシャツ等」とありますが、フォーラムのイベントの際にPRとして、ゲストの方や関係者の方に着用していただいていたが、在庫が底をついたため、来年度に予算を計上させていただきました。また、活動費の項目に「多摩川一斉水質調査(調査項目拡充)」とありますが、先ほど渡邊環境清流部会長からご説明をいただいた、平成26年度助成金となります。また、「多摩川“水”大学講座 小冊子制作費」とありますが、過去2回(調布市、国分寺市)の講座は、小倉先生ご自身で資料をまとめ、それを事務局でコピーして受講生に配布していましたが、第3回目を迎えるにあたり、小冊子化したというものです。最後の項目に、「東北・夢の桜街道運動」2,000,000 円とありますが、東北復興支援事業のため、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出いたします。拠出金の中身としては、春の語り会、ポスター・チラシ・ホームページ制作費、交通費になります。去年は1,900,000 円でしたが、今後、語り会の開催地が岩手県、青森県と遠くなるため、交通費を上乗せさせていただきました。

次ページの「平成26年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について」をご覧ください。「経済」「環境」「教育文化」別にまとめておりますが、平成26年度の新規案件は、経済軸の「多摩川酒蔵街道」のみとなっています。これで、春は「多摩川夢の

桜街道」事業、夏は「大人のカヤック体験教室」、秋は「多摩川酒蔵街道」と、柱になる事業が確立されました。

次ページ「平成25年度事業予算執行実績(12月末時点)」をご覧ください。ここでは、予算に対して上ぶれするもののみ説明させていただきます。まず、運営費の中に「事務雑費」がありますが、郵送費増加やビデオカメラ故障による買い替えに伴い、20,000円上ぶれています。また、活動費の「多摩川教育河川事業」ですが、子ども環境シンポジウムの子どもの参加者が過去最高となり、参加賞の増加や、ピアノの調律代、みんなの発表誌のページを追加する必要が出たため、138,066円上ぶれています。次に「炭焼き窯改修」とありますが、今年度の夏に開催した「炭焼き体験と水辺の交流会」の後、窯の老朽化で穴が空いてしまいました。また、「パンフレット等」として600,000円計上していますが、フォーラムの観音開きのパンフレットを、現状に合わせてリニューアルさせていただきました。最後に「東北・夢の桜街道運動」ですが、先ほどご説明させていただいた通り、500,000円を上乗せさせていただいております。

次ページの「美しい多摩川フォーラム・平成25年度活動報告&今後の予定」をご覧ください。今年度は、3月26日の「第2回桜守学校を開催」まで数えると、51の事業になります。以上で説明を終わります。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。なお、第2号議案は、あくまで事務方素案であり、最終的には、総会提出議案を審議する3月13日開催の第3回運営委員会にて、決定されますことをお含みおきください。有り難うございました。以上で、全ての協議事項が終了しました。

5. 意見交換

(細野会長)

さて、平成26年度の事業計画骨子・同予算の事務方素案が承認されました。ここで、皆様のご意見やご感想を一言ずつお願いしたいと思います。平成26年度事業計画にありますように、経済軸では、新規案件として、秋の「多摩川酒蔵街道」が実現すると、夏の「大人のカヤック体験教室」、春は夢の桜街道事業として「桜のウォーキングや語り会」が定例事業化されていますので、残すところ、あとは冬ですね。例えば、冬の事業について、アイデアがあればご意見をお願いします。もちろん、夏、秋の事業アイデアも歓迎です。東京都の小平様より、順番にご意見をお願いいたします。

(東京都産業労働局 観光部 観光まちづくり担当課長 小平 房代 様)

先ほどご説明のあった「酒蔵ツーリズム」ですが、“東京に酒蔵がある”ことがなかなか

知られていないので、そこを積極的に打ち出していくことが、観光部としてもとても嬉しく思います。また、「東北・夢の桜街道」についても、海外から親日家を取り込むような、積極的な活動を期待しておりますので、これからも頑張ってください。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当 係長 石橋 克己 様)

大田区は多摩川の下流に位置していますが、「東京のきれいな水」として、多摩川の源流を上手く活かしたキャンペーン等を行うと良いのではないかと思います。

(奥多摩町 企画財政課 課長 若菜 伸一 様)

私は例年、御岳のクリーンキャンペーンに参加させていただいておりますが、去年は仕事の都合で参加できず、申し訳ありませんでした。先ほど「冬のイベントがない」というお話がありましたが、例えば檜原村では、「払沢の滝氷爆クイズ」を行っていますし、奥多摩町は、冬も空気がきれいで、奥多摩周遊道路から見る星空も大変きれいです。寒い時に寒いことをするのも面白いのではないのでしょうか。

本日、奥多摩町のフォトコンテストの作品12枚を使用した、2014年度卓上カレンダーを皆さまにお配りしました。どうぞご自宅、職場等でご使用ください。また、チラシを2枚配布いたしましたが、奥多摩町は東京で唯一「森林セラピーロード」を保有しており、積極的に森林セラピーで町おこしをやっております。年間を通じて色々なツアーを組んでおります。女性の参加が多いのも大きな特色で、また、東京都の職員組合さんや共済組合さん、教職員の組合さんにもご利用いただき、昨年だけで1,200名の参加者がありました。ぜひ皆さんの職場でもご紹介いただければと思います。

(日本たばこ産業(株)立川支店 業務部長 武田 和久 様)

冒頭でクリーンキャンペーンの映像を見せいただきましたが、当日はとても良い天気の中、レジャー感覚で楽しみながら清掃活動を行っていらっしゃいました。このイベントに参加された方は、恐らく今後ゴミを道端に捨てる行為をしなくなると思います。我々JTでも、「ひろえば街が好きになる」運動を行っておりますが、このような清掃活動は長く続けていただきたいと思います。

(東日本旅客鉄道(株) 八王子支社 営業部 販売促進課

観光開発グループ 糸井 俊秋 様)

私ども八王子支社は、多摩地域を管轄しており、もちろん多摩川エリアも入っております。特に私どもは、観光開発グループに所属し、多摩地域を盛り上げようという仕事をしております。「多摩川酒蔵街道」についても興味がありますので、ぜひともご協力させていただければと思います。

(森林総合研究所 多摩森林科学園 園長 吉丸 博志 様)

私どもは、主に都市近郊の森林と桜を対象とする研究をしております。フォーラムでは、主に桜の関係でご協力させていただいております。フォーラムのイベントも、四季折々大変充実してきていると思います。また、「東北・夢の桜街道」については、新たに海外から誘客するというので、これも素晴らしいと思います。当園にも、意外に外国人の方がいらっやっています。東北復興支援についても、ご協力させていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

((株)JTBコーポレートセールス 法人営業西東京支店

営業第二課長 岡部 達朗 様)

会田の代理で出席しました。我々JTBは、旅行会社というイメージが強いと思いますが、「交流人口の拡大、需要の創造」という取り組みも行っており、具体的には、昨年11月、大井競馬場において、競馬場でランニングするイベント「競馬ラン」を開催し、6,000名の参加者がありました。来る3月には、川崎競馬場で同イベントを開催する予定です。皆様とも連携できる部分があれば、連携していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。また、「多摩川酒蔵街道」については、有り難いことにワーキング・グループのメンバーとして参画させていただきますので、微力ではありますが、少しでも情報発信していければと思っています。

(細野会長)

JTBさんに伺います。冬のイベントで、集客できている成功事例は何かありませんか。

(岡部 様)

私どもで進めているのはスポーツです。もしくは、多摩川上・中・下流のご当地「食」にスポットを当てても良いのではないかと思います。

(大田観光協会 事務局長 栗原 洋三 様)

意見と言うよりは感想ですが、今日の議題の中で関心を持ったものが3つあります。ひとつは、「東北・夢の桜街道」が国際化していることです。観光庁まで動かしてしまう多摩川フォーラムの発信力のすごさに驚きました。我々が多摩川フォーラムの中で一緒にイベントをやるということが、発信力に繋がるのかなと思いました。次に、カヤック体験教室については、青梅市カヌー協会と同じように、大田区にもカヌー協会があり、大人や子ども、ハンディキャップのある方も参加しています。今後、共催という形でカヤック体験教室をやれば、もっと発信力があるのかなと思いました。最後に、「多摩川酒蔵街道」についてですが、「しゅぞう」と言うよりも「さかぐら」と発音したほうが美味しそうに感じます。アドバイザー的な立場で申し上げます。「酒蔵」は立派な酒造工場ですが、大田区も第3回目となる「おお

たオープンファクトリー」を2月15日に開催します。実は10月に予定しておりましたが、台風で延期となりました。今回は20軒の工場を開いてもらい、工場見学ができるようにします。大田区は個人や少人数で経営している工場が多く、80%を占めています。そういう場所でイベントをするのは大変なことですが、年1回だけでもやってもらえないかとお願いして始めたイベントです。この取り組みで、「第7回観光まちづくり大賞」の金賞を受賞しました。多摩川の上流は森林資源が豊富なように、多摩川下流は、川崎を含めて金属工業が盛んです。いずれは、多摩川流域で「ジャパン・オープンファクトリー・ウィーク」などが実現すれば良いなと夢想しています。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

東京都認定のガイドをしており、直接お客さまを案内する立場です。5年前、御嶽駅前で個人的に調査をしたところ、海外の方で台湾人観光客が一番多かったです。次はアメリカ、イギリス等でした。今日は奥多摩町の方がいらっしゃっていますが、奥多摩は石灰の町です。日原鍾乳洞は有名ですが、その他にも未開発の鍾乳洞や地底湖があります。そういうものも開発していけば良いのではないのでしょうか。また、私は御岳山のレンゲショウマや秩父多摩国立公園のガイドもしております。少し視点を変えて開発しても良いのではないかと思います。ガイドをしていると、お客さんの大半は女性です。今日の会議も女性が1人しか参加していらっしゃいませんが、こういった席にもっと女性の方が参加されると良いと思いました。

(檜原村 産業環境課 産業観光係 主事補 玉川 健一 様)

今回、多摩川フォーラムの会議に初めて参加しての感想を申し上げます。美しい多摩川クリーンキャンペーンは、若い方が沢山参加され、とても良い試みだと感じました。他にも様々な事業を運営されていて、フォトコンテストの入選作品についても、後でじっくり見てみたいと思います。

(日の出町 産業観光課 課長 橋本 和弘 様)

今まで、会議資料は送っていただいていたのですが、会議に参加するのは今日が初めてです。様々な事業を運営され、それが広がっていることを感じました。これからも参加させていただき、一緒に歩んで参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(東京急行電鉄(株) 都市開発事業本部 ビル事業部

二子玉川ライズ推進部 企画担当 専任主幹 小林 誠 様)

当社は二子玉川ライズ推進部と申しまして、田園都市線と多摩川が交錯する所にありますが、2011年の東日本大震災の年に「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」が開業を迎えました。震災復興支援のため、前々から何かやりたいという思いがあったのですが、

今年、いよいよ3月9日に、東北復興イベントを開催することとなりました。その中で、多摩川フォーラムさんと連携して、「東北・夢の桜街道」のパネル展示を行います。パネル展では、「東北・夢の桜街道」の旅行商品チラシやパンフレットを配布し、少しでも盛り上げたいと思っております。こういったイベントが継続できれば、我々としても嬉しいと思います。イベントが終了しましたら、またご報告させていただきます。

(青梅子どもの水辺協議会 会長 渡邊 勇 様)

毎年、青梅市立河辺小学校の子どもたちが、「多摩川子ども環境シンポジウム」に参加して発表していますが、河辺小では、「愛鳥博士」と「スーパー愛鳥博士」という独自の資格を設けていて、特に「スーパー愛鳥博士」は、他の子どもたちに指導できるくらいの資格だそうです。せっかく資格を取った子どもたちに、活躍する場を設けるためにも、今年の3月1日に、日本野鳥の会の方とスーパー愛鳥博士が一緒になって、子どもたちに指導をする、初めての企画を設けました。野鳥観察会には、子どもたちが70名くらい集まります。講師が一人だと、後ろのほうにいる子どもたちには話が聞こえません。そこで、今年は日本野鳥の会の方3名と、スーパー愛鳥博士14名で、イベントをサポートしてもらいます。多摩川子ども環境シンポジウムに参加した人なら分かると思いますが、「スーパー愛鳥博士」はとても良い取り組みなので、他の小学校にも広まれば良いなと思います。

水の測定については、下流に行くほど下水処理水の占める割合が多くなり、水質が悪くなるので、下水処理水自体をもっときれいにするのが出来ないかと考えているのですが、下流の水質を良くするには、上流のきれいな水を下流に流す必要があります。そうするには、家庭から出る水を出来るだけ少なくすることです。少なくするためには、雨水を使うということです。最近改築された青梅市役所では、雨水を地下に溜めて、トイレに使用しているそうです。家庭でも雨水を使えば、25%節約できるそうです。また、下水処理水は窒素、リンが多いので、水耕栽培をして除去したらどうかと思います。大阪では水耕栽培を実施しているところもあるようです。そんなことを色々考えております。

((公財)とうきゅう環境財団 常務理事 事務局長 小野木 喜博 様)

今日、一番印象に残ったのは、事務局の方々が朝の8時に丸子橋に行ったということです。朝早くに、青梅から丸子橋に行くのは大変だったと思います。事務局の方のご苦勞を労りたいと思います。

(青梅市 建設部 計画調整担当 主幹 福泉 謙司 様)

先ほどお話があった通り、多摩川フォーラムさんでは、年間51事業をこなしているということです。事務局の方々には本当に頭が下がる想いです。フォーラムのイベントに参加して初めて分かることもあります。より一層活動に力を入れていただき、参加できるイベントがあれば参加していきたいと思っております。

(東京都西多摩建設事務所 管理課長 青木 正 様)

多摩川フォーラムの皆さまには、多摩川の清掃事業をやっていただき、感謝を申し上げます。西多摩建設事務所は、青梅市の万年橋から上流を管轄しておりますが、それと合わせて、多摩川水系の一級河川を管理しています。私たちが現場に行くと、支流には沢山の素晴らしい景色がありますので、多摩川だけではなく、支流の良さも取り上げていただければ、ますます西多摩地域が発展していくのではないかと思います。

(細野会長)

時間となりましたので、最後に森田副会長から閉会の挨拶をお願いいたします。

6. 総括・閉会

(森田副会長)

本日は、大変お忙しい中をご出席いただき、誠に有り難うございました。また、平成26年度の事業についての方向性について、ご了解をいただきましたので、最終的には事務局で調整を行います。有り難うございました。一点だけ、少し業界に関わるお話をさせていただきます。昨年末、盛岡信用金庫の理事長様が当金庫にお越しく下さいました。理事長さんは、今年の5月1日に盛岡で開催される「東北・夢の桜街道」の語り会について、盛岡市民文化ホールという素晴らしい会場を確保してくださいました。「東北・夢の桜街道」は、多摩川フォーラムが仕掛けて、東北・夢の桜街道推進協議会を立ち上げたのですが、当初、東北の方々は、「いったい何が始まったんだ？」という雰囲気、我々からすれば、「あなたたちのことでしょうか？」と言いたくなる状態でした。しかしその後、東北6県の信用金庫の理事長さんたちも「素晴らしい取り組みだ」と支援されるようになり、色々な取り組みを始めたり、協議会との連携も進んでいます。それも、皆さまにご理解いただいて、細野会長のもと、総会で「東北を応援しよう」と決めて始めたことです。今日お越しいただいていますが、各市町村や東京都、国からも注目されるようになりました。先ほど宮坂事務局長から発表があったように、日本の成長戦略として位置付け、インバウンド事業にも進出しておりますが、今後、大いに発展していくものと思っております。そのためにも、皆さまのご支援がないと前に進んでいきません。多摩川フォーラムは100年、東北復興支援は10年と決めていますので、今後ともご支援をお願いいたします。本日は、有り難うございました。

(細野会長)

これで平成25年度・第2回運営委員会を終わります。本日は有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)